

CB1300SFはとんだだけ軽くなる 第7回



HONDA

# R/R Factory! CB1300SF

## 啓蟄ライダー、始動ス

Photo & Report: 月岡洋一



価格は1個1000円、CB1300SFは7つ使って7000円。燃費が向上した人もいるそうで、実走が楽しみです

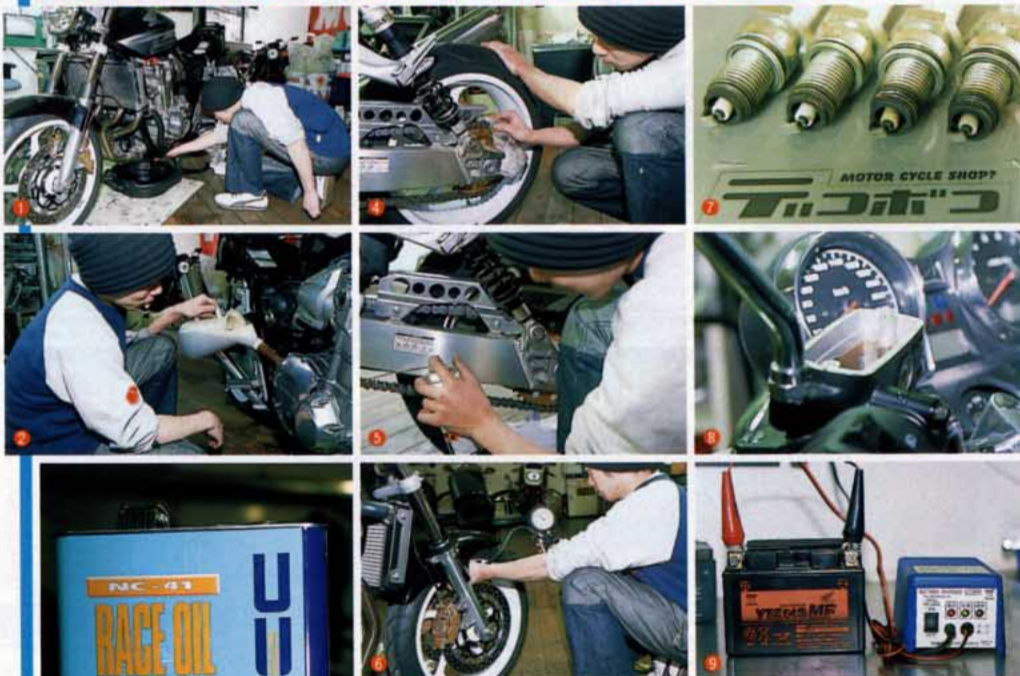
あの特仕パーツ、忠実さんが新発売した同製品、STD比で約6倍という電気伝導率を持つ金属を使用し、接点ロスを低減。トルク感とビクアップの向上が体感できるという、お手軽チューニングパーツです。交換も写真の通り、左サイドカバー内にあるヒューズボックスを開け、ただ差し替えるだけ。今回はそんなこんな作業で日が暮れてタイムアウトになりましたが、近々、実走インプレもお届けできれば、と考えていますよ。

軽量化もバイクが完調なればこそ！  
読者の皆さまには申し訳ない次第ですが、日々の仕事がテンヤワンヤの状態、ろくすっぽR/R・CB・SF号を構う暇がなかったのでありマス。正直に吐露すれば、その間、CBはガレージに寝かせたつくり。猛省の限りです。で、暖かくなってきましたから、一度、愛車を点検しておこう、というのが今回の主な話題。その詳細は下巻の通り。どれもこれも、その気になれば自分でできることばかりではあるのですが、「ウチはレンタルガレージもしていません、忙しいお客さんなど、

月に一度乗ればマシ、なんて方も少なくありません。そこで気にしたのは、やっぱりバッテリー。目で見て判断できませんからね。キャブの調子が悪いのか調べてみる、実はバッテリーが弱って強い火花が飛ばず、プラグがくすぶっただけ、なんていうのもよく聞く話。ちょっと乗らなかつた、なんて場合も電圧チェックと補充電はしておきたいトコロです」と、R/R・CB・SF号の面倒を診てもらっている、凸凹(デコボコ)の高田さん。  
で、そんな電気ネタと言えは今回、上写真にあるウルトラヒューズなるニューアイテムも入手したので、ご紹介しておきますよ。

1月号以来のご無沙汰です。実は仕事に追われまくり、かつ寒さも手伝って、恥ずかしながらこの間CB1300SF号には手を付けられず。これはイカン！と春に向け各部点検などしてみましたよ。

### 気持ち良く乗るためのチェック項目は、意外と冬かたりするんです



- 1-3 まずはほったらかしだったエンジンオイルを交換。昨夏以来、実走3000kmにも満たないはずだけれど思いのほか真っ黒で、凸凹の高田さんもビックリ。で、選んだエンジンオイルは、その高田さんイチ押しニューテック。従来品と違い、添加剤に依存せずオイル粒子自体を通常の1/10と微小とするなど、ベースオイル自体を高性能化したのが特徴なのだとか。NC-41は10w-50の粘度で1万3000円/4L。ほか1に5w-30(NC-40)もあります
- 4 ドライブチェーンもクリーナーで汚れを拭き取り、チェーンブを吹き付けます
- 5 前後タイヤも外観と空気圧をチェック。季節が変われば当然、内圧も変わります
- 6 念のためスパークプラグもチェック。走行5000km弱の状態。焼け具合に問題ナシ！
- 7 これまた意外に真っ黒だった、クラッチフルード。間接的とはいえ、エンジン熱にさらされるものだから、劣化も早く当然なんですけれどね。もちろん、交換となりました
- 8 バッテリーチェックも怠りなく。MFタイプは外見で判断できませんから。アガって立くよりコマメな補充電を。量販店でも補充電対応の充電器も複数、市販されていますしね

### ボヤボヤしてたら'04年モデルが発表に!?

フト、気づいたらCB1300SFの'04年型が発売になっていたのでご報告。今回はカラー変更・追加のみだけれど、R/R号の黒×フォースシルバーメタは残念ながらカタログ落ち。従来の赤/白(ホイールは黒+金へ:写真上)とパール青×フォースシルバーメタに、ダークネスブラックメタ(中)、デジタルシルバーメタ×黒メタ(下)が追加された。'03年型発売から丸1年、月日が経つのは速いものです

